

2019年度 第3回 運営会議ニュース

日 時	2019年6月9日(日) 13:30~15:30
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター(レクチャールーム)
出 席 者	14名

●厚木土木事務所東部センター(略:県土木)

6月に人事異動があり、鈴木氏の後任で米澤氏が谷戸山公園の担当となった。

各ゾーンエリアの管理について(各団体等からの報告事項)

●グリーントフ・谷戸山公園グループ(略:グリーントフ)

定例観察会について。エゴノキにオトシブミがたくさん見られた。エゴツルクビオトシブミ。シロツメクサはマメ科なので、根粒菌が観察できる。マメ科植物は空気中の窒素を取り入れることができ、栄養分が少なくても育つ。マメ科植物が作るアンモニアは、人工的に合成する場合、高温気圧が必要。カラスノエンドウやレンゲソウ、エダマメ等も根粒菌が見られる。エゴノキの花後に青い実ができる。有毒のサポニンを含み、昔は魚とりに使っていたが今は禁止。オニグルミにはクルミマルハバチがおり、蠟物質が白く見える。わきみずの谷のカラムシの丸まった歯の中を除くと、アカタテハの幼虫がいる。フクラスズメの幼虫が葉を食べ、刺激を受けると、死んだふり⇒体を揺する⇒液体を出すという段階で抵抗する。ミズキがキアシドクガに食われていた。六年くらい食害が続き、抵抗力がつくと収まる。(会長)二三年位前からキアシドクガがいる。幼虫は既にガになり卵を産み多分死んでしまった。来年もまた現れると思う。今年は大量発生が多いのかもしれない。

●ふるさとフォーラム座間

広報紙ショッパーで座間の森が紹介された。去年は失敗したが、今年は花芽も着いて今朝見ると25個花が咲いていた。ホタルの最盛期のころ見頃になるので、あわせて観賞してほしい。

●座間のホタルを守る会(略:ホタルの会)

今年はホタルが5/22に最初に飛んだ。昨日6/8には47匹出ていた。今年はほとんど手を入れていなかったわきみずの谷の最上流部に多い。デッキの先端はまだ5匹ほど。田んぼ北水路の竹藪側に20匹ほど出ている。長屋門の水路にも出ている。今年はちょっと生息状況が異なっている。去年のこの時期は100匹ほど出ていたが、今年はまだ半分ほど。湿生生態園の両脇の水路、水鳥の池両脇水路、北谷戸の一番奥に一匹も出ていない。これから出てくるのか心配。12日のホタル観察会は出方によっては翌日に延期を考えた方がよいかも。(天気も悪くて翌日13に延期した。)6月7日にわきみずの谷に下りる園路脇に懐中電灯の光を遮る寒冷紗を設置し、園路の段差には蓄光テープを貼り付けてもらった。水鳥の池の北水路の水路が漏水し、水が半分以上水鳥の池に流れ込んでいる。防水シートを水路に敷いて漏れを防ごうと考えている。

●谷戸山自然ボランティア(略:やとボラ)

湿生生態園の繁茂した緑藻を網ですくったがすぐ元に戻る。様子を見ていきたい。わきみずの谷のカラムシにアカタテハの幼虫が生息。カラムシを保護したが、フクラスズメが食べてしまった。来年はしっかり考えたい。ガガイモは今年こそ開花すると思う。ガガイモは古事記や日本書紀にも出てくる植物。公園からシノダケや木槌を提供してもらったことに感謝。作業小屋の裏もきれいにしてもらった。ツルニンジン、ワレモコウも咲かせるために努力中。湿生生態園の除草を止めてもらったが、カルガモは営巣を断念した。GWに立入禁止区域まで来園者の侵入があったことも一因では。水鳥の池ではカワセミの幼鳥が出ている。ホトトギスやサンコウチョウ、オオヨシキリが一時立ち寄り通過した。オオスズメバチが体験館、野鳥のはらっぱ、湿生生態園にいた。どこかで巣を作っていると思う。

●写楽会

ツルニンジンの保護を行っている。支柱が風で倒れ補修を行った。ツルニンジンも途中で切れたが強いので復活すると思う。東12のウメバチソウがまた復活してきた。コウヤボウキがあるところ

の説明看板が見えなくなっている。気が付いたら切ってもらえれば。

●その他

(会長) 湿生生態園のアオミドロはどうしようもないのか・・・。酸欠だと思われる。昨年浚渫したが。(ホタルの会) 浚渫により、栄養塩が再溶出した可能性もある。(会長) 湿生生態園は深いので入るのも危なく、アオミドロは退治がなかなか難しい。(やとボラ) エビとメダカが随分とられている。明確に書いたものを設置してはどうか。(公園) ザリガニ以外の持ち出しは禁止している。禁止の看板も立っているが、パトロール時に注意する等していく。(やとボラ) 上の池は結構大人が入ってザリガニ釣りをしている。今年は随分みた。

厚木土木事務所東部センターおよび公園管理事務所からの連絡事項等

●厚木土木事務所東部センター(県土木)

- ・植生調査の最終報告書に関して、今年度秋に何株か試しに移植していきたい。移植先や移植作業にもご協力いただけるならお願いしたい。モニタリングしてうまくいきそうなら来年度も引き続き移植を行いたい。工事前には移植完了するべく今後も情報を出していく。
- ・土木の工事について、四年目になる南側の県道沿いの災害防除工事だが、今年度は踏切側に作業を進める。法面の木を切り、切り立っている法面を緩い斜面にして植生マットで保護していきたい。削らないといけない土も多く、木も大木が多い。作業量が多いので1月位まで現場作業が残るかもしれない。
- ・トイレの洋式化について、西口トイレの一部を洋式トイレに改修する予定。
- ・放送設備を要所に設置したい。緊急時の放送として、来園者の数が多い場所に生き物への影響が無い形で設置する予定。また詳細が決まればお知らせする。
- ・階段の改修は終了。今後は木道の改修を進めていく。南 11~12 の辺りを長持ちする素材に切り替える。工事の着手は9月以降を予定している。

●公園管理事務所(略:公園)

- ・米作り隊の第一回目が無事終わり、約50名の参加があった。今後もち米の成長を見守りたい。
- ・ログハウスのピオトープ池側にパーゴラがある。柱の四本中二本がアリに食われている状態。撤去してもよいのではと考えている。取り外す前には予告して撤去したい。
- ・トキワツユクサ(ノハカタカラクサ)についてアンケートの投書があった。三峰神社周辺と森の学校過ぎた南斜面に群生しており、オオブタクサやセイタカアワダチソウと同じ重点対策外来種に指定されている。様子を見て、通常の草刈りの中で抜くなど、気に掛けていく。
- ・今月の里山保全隊は先月と同じ、森の学校の西側斜面を継続して行う予定。
- ・刈り残してある、湿生生態園は他の作業との兼ね合いを見ながら行いたい。後は要望があった、みちくさ広場の通路だけでも刈る予定。

次回開催日 | 7月14日(日) 13:30~16:00

※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所までお申し出下さい。